

報道関係各位

2024年11月27日

～アクティオのカーボンニュートラルの取り組み～  
佐野テクノパーク統括工場に設備機械専用  
「バイオディーゼル燃料スタンド」を設置

株式会社アクティオ

総合建設機械レンタルの株式会社アクティオ(本社:東京都中央区日本橋、代表取締役社長兼 COO:小沼直人、以下アクティオ)は、建設機械の整備や開発、人材育成の場としても重要な役割を担うアクティオ佐野テクノパーク統括工場に、工場内で使用している設備機械の給油を行うための「バイオディーゼル燃料スタンド」を新たに設置しました。



アクティオは、建設機械レンタル業界のリーディングカンパニーとして、カーボンニュートラル<sup>※1</sup>の実現に向けた取り組みを積極的に推進しています。その一環として、工場内で使用している設備機械用フォークリフトに給油する「バイオディーゼル燃料スタンド」を佐野テクノパーク統括工場に設置し、機械から排出されるCO<sub>2</sub>の削減を進めます。

バイオディーゼル燃料(B100燃料<sup>※2</sup>)は日本建設業連合会が施工段階におけるCO<sub>2</sub>削減方策として、軽油代替燃料の利用拡大に向けて発行した「建設業における軽油代替燃料利用ガイドライン」に記載されている環境配慮型の燃料で、廃食用油を原料として製造されており、カーボンニュートラルでCO<sub>2</sub>排出量が約100%削減できます。今回、設備機械用フォークリフトにバイオディーゼル燃料を使用することで、軽油の使用量を約31,449リットル削減でき、年間で約81トンのCO<sub>2</sub>削減が期待されます。これは約5,800本のスギが1年間に吸収するCO<sub>2</sub>量に相当します。

建設機械の多くはガソリンや軽油で動くエンジンが主力で、脱炭素化が課題とされてきました。近年、SDGsの達成に向けて企業の社会的責任がより一層重視されるなか、アクティオは「企業市民としての責任を果たす」立場から「社会的課題解決に積極的に関与する」立場へと進化を遂げています。

アクティオのコアコンピタンスである「レンタル」を通じて、環境・社会における課題解決と持続的発展に貢献していき、これからも時代のニーズと社会の要請に応え「創造と革新」の理念のもとSDGsへの取り組みを推進していきます。

アクティオは、今後も建設機械レンタル業界におけるサステナビリティのリーダーとして、より良い未来の創造に向けて邁進していきます。

※1 カーボンニュートラルとは、CO<sub>2</sub>をはじめとする温室効果ガスの排出量と植林などによる吸収量が等しく均衡している状態を意味し、例えば、生物が成長過程で光合成により大気中から吸収した CO<sub>2</sub> であり、燃焼しても大気中の CO<sub>2</sub> は増加しないという概念。

※2 全国バイオディーゼル燃料利用推進協議会「協議会強制規格(7項目)」を満たす燃料。

## ■バイオディーゼル燃料スタンド



バイオディーゼル燃料をフォークリフトに給油している様子

## ■佐野テクノパーク統括工場

当工場は、2000年12月にテクノパークとして最初に建てられた整備工場です。東京からおおよそ60kmという立地を生かし、関東だけでなく、全国のAKTIO製品の整備、運用を行う中核工場。近年の多様化するニーズに対応するため、工場に設計室と3DCADを設置、工場内製作やトレーニングフィールドで実証が出来るようになっていきます。お客様と実証試験や教育の場としても活用されています。

## ■アクティオが展開する“レンサルティング”とは



アクティオのコンセプトである「レンサルティング」は「レンタル」と「コンサルティング」を合わせた造語で、商標登録しています。会長の小沼光雄は著書の中で次のように紹介します。『従来、建機の世界では「つくる」「売る」という要素が主だったところに、「知恵やノウハウをプラスして貸す」という新たな価値提案をビジネスとして行ったわけです』(算数とハートの経営 2014年 幻冬舎)。現在の建設機械は、非常に高度化しており、せっかくの機能も、現場で最大限に活用することは難しくなっています。目的を果たすため、状況に応じてどの機能をどのように使うのか。

アクティオは単に機械を貸すだけでなく、専門的なノウハウを持ってサポートします。建設機械を熟知する専門レンタル会社だからこそ可能な、しかしレンタルの枠組みを飛び出した提案型のサービスがレンサルティング。時代とともに、その意義を拡大し、進化を続けています。

【アクティオ公式サイト】<https://www.aktio.co.jp/>

【アクティオ Facebook ページ】<https://www.facebook.com/aktio.jp/>

## ■本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社アクティオ 広報部 担当:成澤、深沢

TEL:03-6262-7867 FAX:03-6262-7982 e-mail:koho@aktio.co.jp